

<b>10041 生命科学Ⅱ</b> Life Science II		1 年次～ 前期 2 単位			
担当者	村上 りつ子	履修可能学科	E Pe Pc C W F N		
		関連資格			
サブタイトル	毒と薬の科学				
授業内容 ・ ねらい	<p>現在、私たちの身の回りにはさまざまな化学物質があふれていますが、このなかには人になんらかの作用を及ぼす「生物活性物質(生理活性物質)」があります。これらは、人に都合のよい作用を示す場合は「薬」となり、都合が悪い場合は「毒」となります。</p> <p>「毒」と「薬」は表裏一体のものであり、どちらも人の生活にとって重要なものであることから、これらの化合物に対する科学的な知識を得て、命の尊さや不思議さについて考えることを目的とします。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毒と人間文化</li> <li>2. 毒の歴史</li> <li>3. 毒の分類</li> <li>4. 毒性とその表示法</li> <li>5. 毒性発揮機構</li> <li>6. 解毒機構</li> <li>7. 生物界由来の毒— 植物由来のアルカロイド系有毒成分</li> </ol> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 生物界由来の毒— 植物由来の非アルカロイド系有毒成分</li> <li>9. 生物界由来の毒—微生物由来の毒</li> <li>10. 生物界由来の毒—魚介類の毒</li> <li>11. 生物界由来の毒—節足動物・両生類・爬虫類の毒</li> <li>12. 生物界由来の毒—鳥類および哺乳類の毒</li> <li>13. 化学合成された毒</li> <li>14. 無機毒</li> <li>15. まとめ—毒と薬について考える—</li> </ol> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毒と人間文化</li> <li>2. 毒の歴史</li> <li>3. 毒の分類</li> <li>4. 毒性とその表示法</li> <li>5. 毒性発揮機構</li> <li>6. 解毒機構</li> <li>7. 生物界由来の毒— 植物由来のアルカロイド系有毒成分</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>8. 生物界由来の毒— 植物由来の非アルカロイド系有毒成分</li> <li>9. 生物界由来の毒—微生物由来の毒</li> <li>10. 生物界由来の毒—魚介類の毒</li> <li>11. 生物界由来の毒—節足動物・両生類・爬虫類の毒</li> <li>12. 生物界由来の毒—鳥類および哺乳類の毒</li> <li>13. 化学合成された毒</li> <li>14. 無機毒</li> <li>15. まとめ—毒と薬について考える—</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毒と人間文化</li> <li>2. 毒の歴史</li> <li>3. 毒の分類</li> <li>4. 毒性とその表示法</li> <li>5. 毒性発揮機構</li> <li>6. 解毒機構</li> <li>7. 生物界由来の毒— 植物由来のアルカロイド系有毒成分</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>8. 生物界由来の毒— 植物由来の非アルカロイド系有毒成分</li> <li>9. 生物界由来の毒—微生物由来の毒</li> <li>10. 生物界由来の毒—魚介類の毒</li> <li>11. 生物界由来の毒—節足動物・両生類・爬虫類の毒</li> <li>12. 生物界由来の毒—鳥類および哺乳類の毒</li> <li>13. 化学合成された毒</li> <li>14. 無機毒</li> <li>15. まとめ—毒と薬について考える—</li> </ol>				
教科書 参考書	<p>プリントを配布 参) 船山信次著『毒と薬の科学』(朝倉書店)</p>				
評価方法	筆記試験(持込可), 出席状況, 受講態度を総合して評価します。				
事前準備学習 履修条件等					